

開館20周年記念 収蔵企画展

そつと

ひらいて

みれば

屏風と本で  
たのしむ絵



前期 2023年1月21日④⇒3月5日④

屏風が作る華やきの空間、物語・画譜にあそぶ—江戸時代を中心に—

後期 2023年3月18日④⇒5月7日④

屏風でめぐる四季、本が誘う未知への旅—幕末～近代を中心に—

休館日 毎週月曜日（祝日は開館）、祝日の翌日（2月24日、3月22日）、展示替期間（3月6日～17日）



YOSHIZAWA MEMORIAL MUSEUM OF ART, SANO  
佐野市立吉澤記念美術館

<http://www.city.sano.lg.jp/museum/>

〒327-0501 栃木県佐野市葛生東1-14-30 TEL:0283-86-2008 FAX:0283-84-3655

作品名(左上から順に): 細合秀谷《秋の野辺》【後期】、無款《源氏物語色紙貼交屏風》【前期】、柳亭種彦作・葛飾北斎画「阿波濃鳴門」文化4年(1807)【前期】、橋本重善・長谷川等雲画「絵本宝鑑」貞享5年(1688)【前期】、洋書調所訳「官板海外新聞別集下巻」万屋兵四郎刊・万延元年(1860)【後期】※いずれも部分 当館寄託(古澤コレクション・吉澤家文書)【】内は展示期間

前期展示 2023年1月21日(土)～3月5日(日)  
 屏風が作る華やきの空間、物語・画譜にあそぶ  
 江戸時代を中心に



無款《源氏物語色紙貼交屏風》 画帖から屏風へ？—小さな古い絵を、海の絵を描いた新しい屏風に貼る



曲亭馬琴・編訳、葛飾北斎・画『新編水滸画伝』初編 巻之一、文化2年(1805)【部分】



橘宗重・著、長谷川等雲・画『絵本宝鑑』巻六、貞享5年(1688)【部分】

吉澤さんちから皆が借りて読んだ  
 人気小説

絵のテーマを解説する本

人を迎える空間を彩る「屏風」。1人または少人数で読む「本」。大きさも、描かれる方法も、見る人との距離も対照的な一方で、「ひらくと絵が現れる」という共通点があります。

この展覧会では、「屏風」と「本」という2つの形式を比べながら、それぞれの魅力を紹介します。「松」「物語」などが屏風と本でどのように描かれるか、その違いを比較します。また、見る人はどのように鑑賞したか、生活の中でどのように親しんだかを、絵の中に描かれた屏風や、本に押された印・書き込み・汚れなどの痕跡から具体的に紹介します。

また、前期・後期で作品を大きく入れ替え、それぞれテーマに沿って構成します。季節感豊かな「屏風」の華やかさ、物語の世界や未知の外国へと私たちを案内する「本」の知的な面白さを、親しみやすい解説と共に楽しみたいと思います。

当会で実際に親しまれた作品を中心に構成し、初公開作品も多く紹介します。新年・新年度を迎えるこの季節、すてきな世界への扉をそっと開いてみませんか？

後期展示 2023年3月18日(土)～5月7日(日)  
 屏風でめぐる四季、本が誘う未知への旅  
 幕末～近代を中心に



児玉果亭《飯盛松之真図屏風》明治32年(1899)【六曲二双のうち】



名木を描いた超大作【初公開】



細合秀谷《秋の野辺》 近代花鳥画の華やき【初公開】

※図版はいずれも吉澤コレクション・吉澤家文書(当館寄託)



裨理哲・著、箕作阮甫・訓点『地球説略』万屋兵四郎刊、文久2年(1862)【部分】



坂田魯文・作、落合芳幾・画『西洋道中膝栗毛』六編上、明治4年(1871)【部分】

弥子ん喜多さん海外珍道中

【会期中の催し物】

参加の際はマスクの着用をお願いします。また流行状況により中止・開催方法が変更になる場合があります。当館HP等でご確認ください。

1) 運気上昇! 早春スタンプラリー

期間: 2022年2月4日(土)～2月26日(日)  
 参加館: 佐野市立吉澤記念美術館、佐野市葛生化石館、佐野市葛生伝承館、佐野市郷土博物館  
 干支「卯」や新年・春にまつわるおめでたい作品・資料が展示されています。全館制覇された方に、すてきなプレゼントをさしあげます(先着30名様)

2) 作品鑑賞会 ～当館学芸員と一緒～

日時: 1月21日(土)、2月25日(土)、4月22日(土)、5月7日(日) 各日午後2時～(40分程度)  
 場所: 美術館展示室(エントランス集合)  
 ※当日先着順(15名)、要当日観覧券

吉澤コレクションの工芸  
 — ふたのあるかたち —

板谷波山(彩磁蔓草文香炉)、河合誓徳(釉裏紅陶管「木」)【前期展示】、島田文雄(青白磁草文蓋物)、赤塚自得(鈴蘭図時絵手箱)(当館寄託)【後期展示】 ※一部作品は前後期で入れ替えます

ごいっしょに ～佐野の文化散歩～

※休館日などについては、各館にお問い合わせください

佐野市葛生伝承館 0283-84-3311 (入館無料)  
 「牧歌舞伎展」10/8(土)～1/22(日)  
 「雛人形展」2/4(土)～4/6(木)

佐野市葛生化石館 0283-86-3332 (入館無料)  
 第17回「新着標本展」1/14(土)～4/16(日)

佐野市郷土博物館 0283-22-5111 (入館無料)  
 収蔵資料展「くらしのうつりかわり」  
 1/4(水)～2/23(木・祝)

佐野市人間国宝田村耕一陶芸館  
 0283-22-0311 (入館無料)  
 「田村耕一と彫刻家田村了一展」11/11(金)～2/26(日)  
 「所蔵名品50選展」3/3(金)～6/18(日)

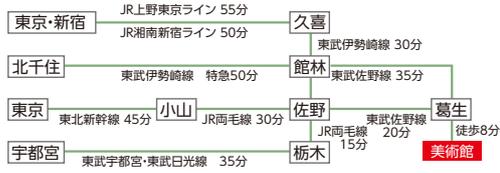
美術館へのアクセス



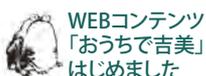
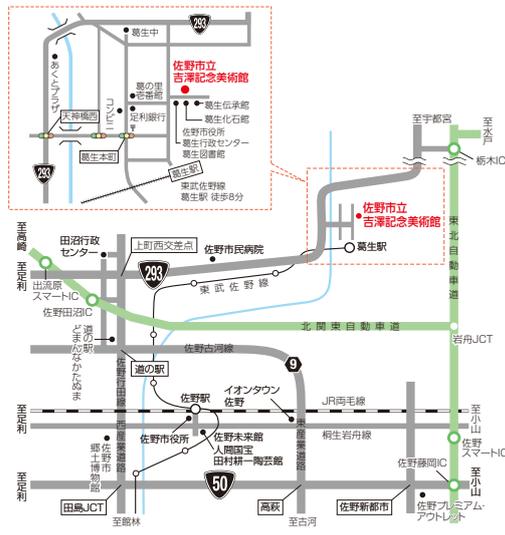
北関東自動車道佐野田沼ICから15分  
 →国道293号線を利用  
 →葛生行政センター北側  
 ※宇都宮中心部から60分



電車 東武佐野線 葛生駅徒歩8分



※所要時間は目安です



ご来館の前に!

新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、臨時休館・期日等が変更になる場合がございます。最新情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認ください。